

I. 事業報告

平成 14 年度企画展

ゴジラの時代 SINCE GODZILLA

会 期	2002 年 4 月 20 日～2002 年 7 月 28 日
開催日数	86 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
後 援	読売新聞社
協 賛	ヤマト運輸株式会社、株式会社前田道路、 清水化成品工業株式会社
協 力	東宝株式会社、都立第五福竜丸展示館、世田谷文学館、日本大学芸術学部映画学科、 東京国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター、社団法人映画文化協会、 川崎市市民ミュージアム
観 覧 料	一般 900 円、高・大学生 700 円
入場者数	33,953 名
1日平均	395 名
図 録	A4 変版、52p、1,200 円(税込)
ポスター	B2、B3
チ ラ シ	A4
出品点数	岡本太郎 1 点、ベンチャー 7 点、撮影用怪獣、小道具、台本、写真、ポスター等資料 183 点
担 当 者	大杉浩司、片岡香



カタログ



チラシ

[開催趣旨]

1954 年の第五福竜丸事件をきっかけに放射能によって古代の恐竜が蘇るという発想から生まれたゴジラは、国内だけでなく世界中の人たちに親しまれているキャラクターとして、その後時代の移り変わりに応じて我々の価値観や時代性を象徴してきた。本展は戦後から現在までを振り返り、我々の社会の中で変貌を遂げてきたゴジラとは何ものかを考える機会として開催した。

[主要関連記事]

- ・「ゴジラの時代」『読売新聞』2002 年 4 月 20 日 (5 回連載)
- ・「怪獣姿でアートが逆襲」宝玉正彦『日本経済新聞』2002 年 7 月 22 日
- ・NHKTV 首都圏ネットワーク 2002 年 4 月 18 日放送
- ・「What's up」『THE JAPAN TIMES』2002 年 7 月 11 日

[関連事業]

トークとゴジラ映画上映会「日米ゴジラ対戦」

会 期 2002 年 6 月 2 日 午後 1:00～4:00

参加数 約 130 名

内 容 小野耕世、ピーター・ミュソッフを講師に迎え、ゴジラを日本とアメリカの比較文化の見地で検証し、我々にとってのゴジラの実在とは何かをテーマにトークする。また、映画「ゴジラ VS ビオランテ」を上映。

場 所 企画展示室内映像シアター

講 師 小野耕世(評論家)、ピーター・ミュソッフ(比較文化)

料 金 無料(入館料のみ)



トークとゴジラ映画上映会「ゴジラとはなにか」

会 期 6 月 16 日

参加数 約 150 名

内 容 香山リカ、高橋敏夫をゲストに迎え、大衆心理、文学の見地から我々の生活の中でのゴジラの実在とは何かを検証する。また、トークの後、映画「ゴジラ」(1984)の映画上映も行なう。

場 所 企画展示室内映像シアター

講 師 香山リカ(精神科医、神戸芸術工科大学助教授)、高橋敏夫(早稲田大学文学部助教授)

料 金 無料(入館料のみ)



トークとゴジラ映画上映会「ゴジラの未来」

会 期 7 月 21 日

参加数 230 人

内 容 GMKゴジラ映画監督・金子修介、ゴジラ造形家・品田冬樹をゲストにGMKゴジラの制作秘話、監督のゴジラ映画に対する思いを語る。その後映画「ゴジラ モスラ キングギドラ 大怪獣総攻撃」を上映。

場 所 企画展示室内映像シアター

講 師 金子修介(映画監督)、品田冬樹(ゴジラ造形作家)

料 金 無料(入館料のみ)

対ゴジラ新怪獣創造計画・あなたの中の怪獣を呼び覚ませ

会 期 6 月 8 日、6 月 9 日

参加数 50 人(各回募集 25 人) 公募点数 315 点

内 容 ゴジラと戦う怪獣のデザインを公募する。また、美術館でのワークショップとして講師にヤノベケンジ、品田冬樹を招き、怪獣の歴史や怪獣の造形要素などをレクチャーし、参加者が思い思いのオリジナル怪獣デザインを行なうもの。一般公募とワークショップのデザイン画はヤノベケンジ、品田冬樹、村



田慶之輔(当館館長)で審査し、入選、入賞を決める。

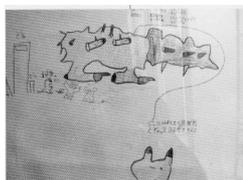
場 所 ガイダンスルーム、展覧会会場、創作アトリエ

講 師 ヤノベケンジ(美術家)、品田冬樹(ゴジラ造形作家)

料 金 300 円

〈受賞者・入賞者一覧〉

賞名	タイトル	氏名		
館長賞	ベースギドラ	後藤巧也	怪鳥ピーピー	惟村恵里
品田賞	ジラゴン	柳川太希	(タイトルなし)	針生勝文
ヤノベ賞	七色の5つの首龍	三田悠介	マグマゴーレム	稲垣達朗
富山賞	ア lindou	門嶋隆裕	グリード	平賀貴
入選	ピュンチュリーラ	竹本めぐみ	日本列島	今井紀彰
	AHIMUSA-SATAYAGRH	Nobody Nowar (坂上友之)	雷震獣 ドゥルン	里見元
	A-PIKATOM-TAO-SPIRI		メタガノージ	植原光俊
	T-SHALOM-SHANTI-AM		ダクダガー	横山肇
	IN-ANEN-△○□☆☆-N		スパイダーキング	伊豆田唯見
	OBODY-NOWA-SELAH		(タイトルなし)	片岡香
	A-NONUC		D-UFO&エイリアプス	木下太朗
	バンドロン	惟村唯博	ピンラデン怪獣	胡洪濱
	魔人龍一クルエル	萱嶋俊郎	グルンクン	サワラギノイ
	ドラマ	河野佑介	ゴールドナイト	山本賢太郎
ムコラ	小田尚嗣	ウォータードラゴン	太田真澄	
(タイトルなし)	中口元希	(タイトルなし)	田中譲	
スキューラ	上野八寿徳	怪獣	大坪久美子	
神獣バサラ	野沢朋美			



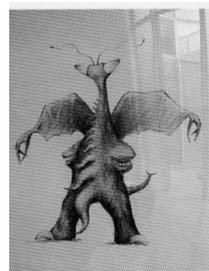
館長賞
ベースギドラ
後藤巧也さん



品田賞
ジラゴン
柳川太希さん



ヤノベ賞
七色の5つの首龍
三田悠介さん



富山賞
ア lindou
門嶋隆裕さん

[出展作品及び資料リスト]

<美術作品>

作家/作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	所蔵
ー岡本太郎ー				
燃える人	1955	212.5×308.5	油彩	東京国立近代美術館
ーベン・シャーンー				
病院で	1957	46.0×46.0	毛筆、素描	第五福竜丸展示館
彼らの道具	1957	53.0×41.0	インク、素描	第五福竜丸展示館
出航	1957	53.0×68.0	インク、素描	第五福竜丸展示館
降下物	1957	35.0×41.0	インク、毛筆、素描	第五福竜丸展示館
死んだ彼	1957	68.0×53.0	インク、素描	第五福竜丸展示館
出航	1957	53.0×68.0	インク、素描	第五福竜丸展示館
船主	1957	50.0×38.0	インク、素描	第五福竜丸展示館
■インスタレーション				
ー今井紀彰ー				
ゴジラの足跡	2002	φ 600	コンクリート、発泡スチロール、 アスファルト	個人蔵
■写真				
ー長野重ー				
石油化学工場の落成式(1961)、5時のサラリーマン(1959)				川崎市市民ミュージアム
ー影山光洋ー				
我が家の10年(「昭和の女」より)(1956)、我が家の10年(「昭和の女」より)(1946)				川崎市市民ミュージアム
ー富山治夫ー				
交通戦争(1967)、現代語感・新宿(1963)				
ー菊池俊吉ー				
昭和 20 年 11 月・服部時計店も PX に変わる(1945)、昭和 20 年 11 月御徒町ヤミ市・ ここは食べ物やが主力であった(1945)、昭和 20 年 3 月 20 日頃江東区・3 月 10 日の 大空襲のための焼け野原(1945)				川崎市市民ミュージアム

<資料>

作家/作品及び作資料名(上映年)	所蔵
<p>■ゴジラ造形資料</p>	
初代ゴジラ、モスラ対ゴジラ、キングコング対ゴジラ、ゴジラ 2000、ゴジラ VS デストロイア	酒井ゆうじ造形工房
<p>■シナリオ台本</p>	
ゴジラ(1954)、ゴジラの逆襲(1955)、キングコング対ゴジラ(1962)、モスラ対ゴジラ(1964)、三大怪獣地球最大の決戦(1964)、怪獣大戦争(1965)、ゴジラ、エビラ、モスラ南海の大決闘(1966)、怪獣島の決戦ゴジラの息子(1967)、怪獣総進撃(1968)、ゴジラ・ミニラ・ガバラ・オール怪獣大進撃(1969)、ゴジラ対ヘドラ(1971)、地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン(1972)、ゴジラ対メガロ(1973)、ゴジラ対メカゴジラ(1974)、ゴジラの逆襲(1975)、ゴジラ(1984)ゴジラVSピオランテ(1989)、ゴジラVSキングギドラ(1991)、ゴジラVSモスラ(1992)、ゴジラVSメカゴジラ(1993)、ゴジラVSスペースゴジラ(1994)、ゴジラVSデストロイア(1995)、GOZILLA(トライスター版)(1998)、ゴジラ 2000(1999)	映画文化協会
<p>■パンフレット</p>	
七人の侍(1954)、モスラ対ゴジラ(1964)、三大怪獣地球最大の決戦(1964)、怪獣大戦争(1965)、ゴジラ・エビラ・モスラ南海の大決闘(1966)、怪獣島の決戦ゴジラの息子(1967)、地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン(1972)、ゴジラ対メガロ(1973)、ゴジラ対メカゴジラ(1974)、メカゴジラの逆襲(1975)、ゴジラ(1984)、ゴジラVSピオランテ(1989)、ゴジラVSキングギドラ(1991)、ゴジラVSモスラ(1992)、ゴジラVSスペースゴジラ(1994)、ゴジラ 2000(1999)	映画文化協会
<p>■ポスター原画</p>	
<p>—生頼範義—</p>	
ゴジラ(1984)、ゴジラVSピオランテ(1989)、ゴジラVSキングギドラ(1991)、ゴジラVSモスラ(1992)、ゴジラVSメカゴジラ(1993)、ゴジラVSスペースゴジラ(1994)、ゴジラVSデストロイア(1995)、ゴジラVSメガギラス(2000)	東宝株式会社
<p>■ポスター</p>	
ゴジラ・エビラ・モスラ南海の大決闘(1966)、怪獣島の決戦ゴジラの息子(1967)、ゴジラ対ヘドラ(1971)、ゴジラ対メガロ(1973)、ゴジラ対メカゴジラ(1974)、メカゴジラの逆襲(1975)、ゴジラ(1984)、ゴジラVSモスラ(1992)、ゴジラVSスペースゴジラ(1994)、ゴジラVSスペースゴジラ(1994)、ゴジラ大全集・ゴジラ対メカゴジラ、キングコング対ゴジラ、怪獣大戦争(1979)、原子怪獣現わる(1963)、七人の侍(1954)、二十四の瞳(1954)	東京国立近代美術館フィルムセンター
ゴジラ(1954)、キングコング対ゴジラ(1962)、モスラ対ゴジラ(1964)、三大怪獣・地球最大の決戦(1964)、ゴジラVSキングギドラ(1991)、ゴジラVSモスラ(1992)、ゴジラVSメカゴジラ(1993)、ゴジラVSスペースゴジラ(1994)、ゴジラVSデストロイア(1995)、GOZILLA(1998)、ゴジラ 2000(1999)、ゴジラ X メガギラス(2000)、ゴジラVSピオランテ(1989)	東宝株式会社

■資料

ガイガーカウンター、死の灰、第五福竜丸展示パネル

洗濯機(1954)、冷蔵庫(1958)、テレビ(1960)

第五福竜丸展示館

川崎市市民ミュージアム

■報道写真

終戦直後の新宿・ビルは伊勢丹と三越くらい(1945)、東京のヤミ市 数寄屋橋の上で青空マーケット(1946)、サンフランシスコ講和条約(1951)、覆面レスラーに空手チョップを繰り出す力道山(1953)、自衛隊発足(1954)、神武景気で電気洗濯機が急速に普及(1955)、皇太子御成婚(1959)、東京オリンピック(1964)、東海道新幹線開業(1964)、三億円事件(1968)、ビートルズ来日(1966)、浅間山荘事件(1972)、小野田元少尉(1974)、ホテルニュージャパン火災(1982)、東京ディズニーランド(1983)、日航ジャンボ機墜落(1985)、元号平成(1989)、ベルリンの壁崩壊(1989)、オウム真理教(1995)、阪神大震災(1995)、湾岸戦争(1991)、クローン羊(1997)、第二次オイルショック(1979)、原子力船むつ入港(1978)、日本万国博覧会(1970)、ドルショック(1971)、貿易センターテロ事件(2001)

読売新聞社写真部

■書籍

「机」12月号(1955)、「日本探偵作家倶楽部会報」no89(1954)、「日本推理作家協会会報」4月号(1967)、「温泉」3月号(1955)、「七彩」冬、第1号(1956)

竹内博

■ゴジラ撮影資料

ゴジラきぐるみ 3体(ゴジラ 2000、ゴジラ VS デストロイヤー、ゴジラ・モスラ・キングギドラ大怪獣総攻撃)、ラドン(イベント用)、モスラの卵(ゴジラ VS モスラ)、モスラ幼虫・頭部、モスラ成虫(ゴジラ VS モスラ)、メカゴジラきぐるみ(ゴジラ VS メカゴジラ)、メガスロン・上半身(ゴジラ VS メガギラス)、巨大 UFO(ゴジラ 2000 ミレニアム)、ゴジラ心臓(ゴジラ・モスラ・キングギドラ大怪獣総攻撃)、スペースゴジラ・イベント用、オハイオ級原潜(ゴジラ・モスラ・キングギドラ大怪獣総攻撃)、デストロイア飛行型(ゴジラ VS デストロイア)

東宝株式会社

オキシジェンデストロイヤー

西村祐次

■本多猪四郎書き込み台本

モスラ対ゴジラ(1964)、メカゴジラの逆襲(1975)、ゴジラ・エビラ・モスラ南海の大決闘(1966)、ゴジラ・ミニラ・ガバラオール怪獣大進撃(1969)、三大怪獣・地球最大の決戦(1964)、怪獣大戦争(1965)、ゴジラ(1984)

日本大学芸術学部映画学科

■本多猪四郎ファイル

ゴジラ(1954)ピクリアルスケッチ写真ファイル、モスラスチール写真ファイル、ラドンスチール写真ファイル

日本大学芸術学部映画学科